

こんにちは 森林官です！



根釧東部森林管理署 羅臼森林事務所

森林官 上西 成隆

【地域の紹介】

羅臼森林事務所が所在する羅臼町は、北海道東部の知床半島南東部に位置する人口約4千人の町です。漁業が盛んで、昆布やサケ、エゾバフンウニ、タラをはじめとする様々な海産物が水揚げされています。

また、観光船による自然観察も人気で、夏にはクジラやイルカ、シャチ、冬には流氷やオオワシ、オジロワシなどを観察することができます。羅臼森林事務所周辺にもオオワシやオジロワシが飛来し、身近で見ることができます。



展望台からの眺め

【森林事務所の概要】

羅臼森林事務所が管轄する国有林野面積は約2万9千ヘクタールで、そのうち約2万2千ヘクタールが世界自然遺産「知床」の登録区域となっています。

管内の人工林は約300ヘクタールほどで、98%以上が天然林です。知床森林生態系保護地域に設



熊越の滝

定され、原生的な自然環境の維持・保全に取り組んでいます。

管内には、熊越の滝や羅臼湖など、多くの観光スポットがあります。

【森林事務所の業務】

羅臼森林事務所では、山地災害の未然防止を目的とした林野巡視や境界の保全管理業務のほか、森林資源調査などを実施しています。

国有林と海の距離が近く、森林の状況が漁業にも大きく影響することから、台風や大雨の後には河川の濁りの状況を確認しています。さらに、世界遺産地域内においてサケ科魚類の自由な移動を確保するため、切り下げを行ったダムの状況確認も行っています。このほか、羅臼町や環境省などの関係機関と連携し、羅臼岳や羅臼湖遊歩道等の整備も実施しています。



羅臼湖歩道整備

【最後に】

羅臼森林事務所は、森林整備事業が比較的少なく、他の森林事務所とは異なる業務が多いのが特徴です。また、世界自然遺産「知床」の登録区域へ車でわずか5分ほどで行くことができる環境で働けることは、なかなか得難い経験です。

これからも、人と野生動物との共生に考慮しながら、地域の自然環境の保全と適切な森林管理に取り組んでいきます。